



埼玉親善大使レポート

# アジア諸国への交通まちづくり 支援活動

2026年6月  
イーグルバス株式会社



© EAGLE BUS CO., LTD 2007

# 2024年5月29日 フィリピン政府次官級幹部研修で当社へ来訪



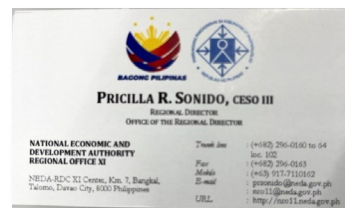
政策大学院大学からの依頼で、データによる現状の見える化と最適化で新たな需要を創出するというアプローチの研修でフィリピンから政府次官級幹部の研修を受け入れました。幹部の皆さんは大変に真剣で、フィリピンの行政サービスの現場に活用したいと言っていました。



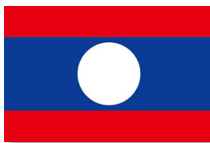
川越市での講義の後、全員で記念撮影



小江戸巡回バスの電気ボンネットバスの体験と蔵街視察



# 2024年6月12日 ラオス国 ルアンパパン市から川越と東秩父村来訪



ラオス国の世界遺産の街ルアンパパン市の交通局からJICAの縁で交通まちづくりの研修に来社。ルアンパパンでは世界遺産の古い街と環境保全を現在の交通混雑を考慮した交通まちづくりを模索しており、まさに川越と東秩父村の取り組みは彼らにとって大変有益な情報となりました。川越での講義と市内視察、東秩父村の交通ターミナルと観光施設を融合させた「小さな拠点構想」を説明



東秩父村和紙の里ハブバスターミナルで記念撮影



東秩父村和紙の里



交通まちづくりの研修(川越)



東秩父ですき和紙体験



東秩父村長から和紙の里の経緯説明



川越車庫で電気ボンネットバスを試乗

# 2024年6月14日 モザンビーク国交通局来訪



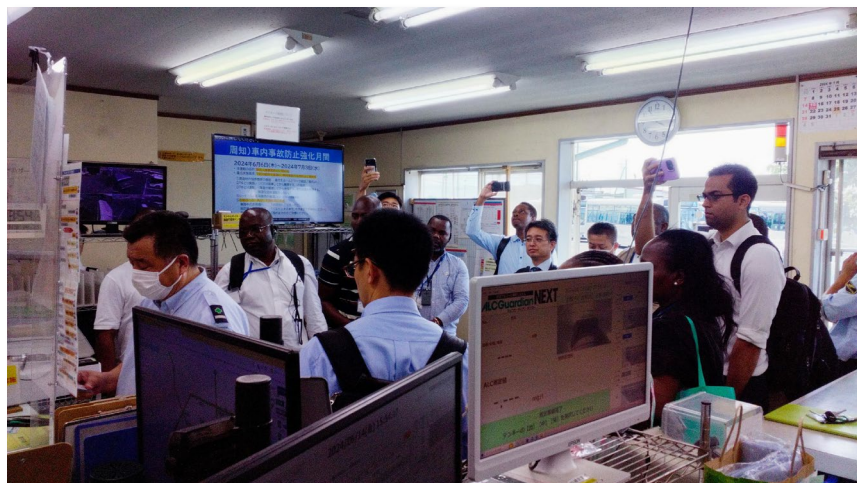
東アフリカのモザンビーク共和国は世界最貧国の一つですが、豊富な天然資源や白いビーチをはじめとする手つかずの観光資源を持つ、成長の可能性が高い国です。日本の支援で公共交通の構築が始まり、JICAの紹介で川越の観光まちづくりとバス事業の運営を、講義と当社の車庫で実際体験していただきました。



公共交通の改善について講義



交通と観光おこしを両立させる電気ボンネットバスに興味



車庫で実際の運営を見学



見学の後、車内で当社担当者への質問

# 2025年8月7日 スリランカ国の古都キャンディ市から観光まちづくり研修



スリランカの古都キャンディは仏教文化を伝える貴重な都市として1988年にユネスコ世界遺産に登録されており。世界中から多くの観光客が訪れています。しかし公共交通の運行は非効率的でサービス改善が必要なことからJICA支援の一環で、古い街並みを活かしながら街づくりと交通まちづくりの実践例として当社に研修にまいりました。



川越市の古い蔵 蔵里で講義



当社社長講義(データと観光活用によるバスサービス改善)



当社電気ボンネットバスで川越蔵の街へ



キャンディ市の副市長、交通関係職員と記念写真

# 2025年8月29日 カンボディア プノンペン交通局来訪



カンボジアの首都プノンペン市の公共交通バス改善支援をJICAプロジェクトの一員として当社は2019年まで関わってまいりましたが、プノンペン市の積極な支援もあり、当初とは見違えるバスサービスとなりましたが、次は交通まちづくりの段階となりJICA研修の一環としてプノンペンバス公社総裁はじめプノンペン市幹部が当社に研修に来訪していただきました。川越での研修と小川営業所、東秩父村和紙の里を視察しました。



公共交通の役割について講義(川越)



東秩父村村長と記念写真(和紙の里)



EVバスの説明



小川営業所で運行管理の視察



手作り和紙体験(和紙の里)